

昭和18年3月1日（月）

朝降雨。後一時晴れ模様なりしも、遂に曇りに終わり、夕方再び少雨。切手類千四百円弱請求。資金納付にミワさんに行って貰ふ。10時、資金二千円の請求に今度は余出掛く。雨降り歇みたり。局の前近くミワさんに会す。更に11時20分頃、切手類受取りに出掛く。報告物夕方より着手。火鉢ストーブ共、当分継続することとす。

昭和18年3月2日（火）

晴れ。掃除せしも両側のみにて、中央路は猶泥濘の為、掃除出来ぬ。此日も切手類請求。朝の資金はミワさんに行って貰ふ。坊や近頃、悪戯甚だし。皆大困りす。栄町長病気快方に向かい、今津に行く序でに立寄らる。発熱39度、頭痛激甚とあり。夜常会。余坊を抱きて睡らす。森田さんも同伴。国債割当発表。夕方近く曇り、風寒し。午後巖来たり。福地先生に交渉、結納金三百を四百とするに同意せりと云ふ。余、全面的に不同意を唱ふ。

昭和18年3月3日（水）

快晴。朝飯頃まで坊や寝て居る。午睡せしめざりし為、夜も早く眠る。午後2時頃より、日向に30分間抱き居る。向いの飲食店の女将、兄弟の子、二月生まれを負ふて見ゆ。そこへ靴屋の秀雄ちゃん、菓子持ち食べて居る。坊、欲し相に見入る。女将丸房路二ヶ持参、坊に下さる。此日、森久より千五百円の印紙請求あり。千百円持参、四百円立替払込むと同時に、現品を頂き帰る。巖来たり。福地先生宅にて恰度、先方の兄が来たり居り、話が順調に進捗したることを余に告げた。金谷の少佐未亡人とかの意見を徴したとか、色々説明があったが、首肯すべき

ものも発見されざりし。忙しいので、よい加減に上げた。夜、貯金増進報告、作成す。

昭和18年3月4日（木）

晴れ。請求せず。朝の切手残検査に、一円一枚不足あり。遂に欠損となる。朝は例に依り、粥食に黄粉二袋求めて来らる。風寒く、室内は猶火を要求さる。火鉢、此日自発的に廃止。無烟炭のみ採用さる。ミワさん坊の守りに、仕事の方はお留守になる。坊午睡せず。夕方湯に行かれ、帰りは負はれたまま坊や睡る。其の儘、林檎もやらず床に寝かす。余明日の請求を書き、新聞を見、10時寝床。

昭和18年3月5日（金）

連日快晴に反して、朝来曇天。風寒し。11時、福地先生奥様見え、玄関三畳に請じ、余の懐抱を打ち撒く。二十分余話して去らる。此の朝、巖見ゆ。朝飯遅くなる。切手類請求もあり多少焦り気味となる。巖は草野八重子宛て手紙を見て呉れと、持ち来たりしなり。文章を練るに努力の跡を見たるも、肝腎の問題に対しては、全面的に否定され、そんな手紙を出すことは非礼とも認められ反対す。巖としては、折角の名文を闇に葬るに忍びざる気配を示す。切手資金払込みにはミワさん、受取りには余、午後より行く。弾丸切手20枚送付越しあり。鉄道大異動。中津保線区所長、勇退（唐仁原新吾氏）。夕うどん大量頂き睡魔、何分新聞を見得ず。9時30分寝床。夕方より降雨。雨傘貸して局員の便宜を図る。

昭和18年3月6日（土）

昨、午睡せしめざりし坊やは早く寢床せしも、比較的早く起床。ウンコを押入れ闕にやって居る。夜8時、湯より飯り事務室にてウンコをやり、ウンコと知らず。余り過食するか軟便に過ぐ。余恐い顔をすると、自分もテレ気味にてチャーチャと機嫌をとる。此日午睡、炬燵に寝かす。二時間余眠り夕食を済ますも起きず。強いて起こして食を摂らし、間に合わせ夕食に其の残りを摂取す。これにて腹加減良し。菓子配給は切符以外に売れぬことになる。

昭和18年3月7日（日）

快晴。事務室掃除。窓際にて新聞を見る。遮蔽幕の女将来、70円支払ふ。午前中坊を連れ駅裏まで至る。約一時間半、次いで寝かす。一時間計りにて起きる。夕食前再び連れ出し、30分間附近、就中、駅倉庫前を東に日向にて遊ばす。殆ど坊の為に大部分を費やす。岩尾さん朝見ゆ。日付け印の誤捺（8日を7日に更値）あり、注意。電報原書に2銭過剰あり。

昭和18年3月8日（月）

晴れ後曇り、一時少雨。モンペ軍9時集合、黒頭巾冠る。従来と多少相違、新工夫を重ねたるもの。此日切手請求九百余円。西田氏係として据（す）わりつつあり。受取りにも余行く。一昨、まこと誌来る。演習は3時頃済む。8時訓練終了。燈火管制に消燈す。此の朝切手箱の位置を移して、余の傍らに配す。

昭和18年3月9日（火）

曇り、朝少雨。街路中央部は雨に濡れ、両側部のみ酒

掃。切手請求せず。道子へ葉書、4時頃書く。此の日、遂に晴れそうにして曇る。照会文書の返信に費やす。夜隣組の集会あり。ミワさん森田さん出席さる。

昭和18年3月10日（水）

此の朝、珍しく釜の湯沸かず。煉炭黒し。ミワさん起きてクドに移して間に合わせ下さる。洵（まこと）に辱なし。昨夜隣組の集会の要旨は、毎朝夕二回ラジオ体操に参加方、及び日田市から防空関係者が乗り込むから、18日まで演習態勢を持続すること等。此朝、初会開始に休電となる。印紙のみ請求。ミワさん受取方にまで行って下さる。昨日森田さん休暇。風邪の為らしいが、妹秋ちゃんの誕生日の馳走準備でもあったらしい。陸軍記念日。道子から、坂本先生から頂いたと云ふ鯛味噌、坊やの腹巻き等、贈り物の小包到着。坊、下駄穿きにて負はれ中津局行き。販りは歩かせて来られ、夕方より隣組の集会に又々参加。夜警関係を協議す。今日「まこと」誌配付。

昭和18年3月11日（木）

晴れ。朝、書留が間違っ居ると、批難を持込めるものあり。恰度、請求書が臨時交付を受けたる計り。之を使用して配達証明を請求せしむ。丹波市の中山某より返電に対する返信あり。所得申告書発送を了せり。此の日、愈々福岡行きを、13日土曜日に決行することにせり。ミワさんメリケン粉や色々の粉、整ひ初めらる。佐世保へ返信出すのを忘れて居る。此の機会に福岡と両方に葉書認め、佐世保は速達で、12日中津局に受付けて貰はる。切手請求はミワさん、受取りにも行って貰ふ。戦時手当の請求を作成すべく努力す。此夜、防空演習あり。黒幕

を張る。

昭和18年3月12日（金）

切手請求は、昨日の項に記載せしは誤り。此の日の分なりし。朝8時、速達を出すべく中津局に行かれ、里芋、人参、蒟蒻草等二円余求め来らる。朝の間も一時間位にて売切れの由。夕は林檎を求め来らる。肉も今日売出し80匁に限られあるを、二包み（120宛て）求めらる。坊や公園に遊ばせらる。

昭和18年3月13日（土）

此の日より3月24日（水）まで12日間記載なし。

昭和18年3月25日（木）

朝快晴の処、次第に曇り。9時頃より陽の光を見ず。9時20分頃より出発。土産巻鮓、ばら鮓等を一纏めに、二つの風呂敷包みとして脊負ふようにしつらえ、久子に切符2,55を買わせ、道子は坊を抱き、途中にて久子と交代。二回久子は淳を負ふて、其の上坊を抱くこととて、重さに堪えざりしと想像さる。定刻までに大分待つ。此の間、便所に二回連れて行く。定時発車。幸に便所の側に空席あり。道子等先に飯れと注意したるも、発車まで待居り手を揚げて歓送し呉る。途中ばら鮓、握り飯とし二ヶ持参せしも、種々の事情にて昼飯時にも与ひ得ざりし。坊の下駄、途中にて落としたり。小倉手前にて坊を抱き居る間に小便失敬、余の着物を濡らす。清瀬氏、熊本会議販りに近所に居られたるを目撃、挨拶す。小倉にて乗換の際、各放れ々々となりたり。余も荷物も混雑の際、紐の結い目解けばらばらとなり、収拾したるも遂に坊の下

駄を失ふ。駅にはミワさん出口に待構え居らる。坊を渡し荷物、余持つ。局員に茶菓を出す一円分求めらる。快晴。

昭和18年3月26日（金）

快晴。切手類請求八百余円、早く第二次に移る。ミワさん行かる。坊の健康診断、市役所からの通知に依り、坊は25日、淳は26日となり居り、25日に行くを得ず。此の日、久垣医院に行く。序でに切手請求金の払込をして頂く。坊や裸体となり泣いてばかり居たるが、着物を着て泣き歇みたりと。小母車にて販るさ、余請求品受取に出掛け理髪屋前にて逢ふ。大分待たされ、葉書六千、其の他多数を持来る。恰度、寺町角にて切手類地に委す。某集配員手伝ふて拾上げ呉る。新聞販売店前までミワさん、坊を連れ迎えに来たり居らる。午後巖来る。座敷に通し、結納金先方に持参に対し、余も同行を求む。多忙の事由を以て、成る可く之を回避するの手段に出づ。快晴の天候も、夕方より曇天となる。

昭和18年3月27日（土）

曇り、後細雨。電報原書の検査。切手類は昨日分ミワさん任せ、此日から余の責任に移す。坊の焼き敷き布団、母堂に依り改修取運び中。栄町局長に明日、下関園田町局長一行見学団、臨局を報告せしむ。佐藤局長会長、尿毒症にて先般今津前局長死去会葬の際、多少無理をして出張したる為、病い革まり臼杵の病院に加療中、危篤に頻せる旨通知ありしが、此日遂に逝去されしやに聞く。3時頃より小雨そぼ降る。

昭和18年3月28日（日）

朝来降雨。表を掃除出来ざりし。7時より朝食。其の為、座敷の掃除も見合わせたり。坊8時近く起床。母堂に養って頂く。8時20分下関園田局長、小村三郎氏、市内無集配局女子事務員二名を引具し立寄らる。一時間見学して、9時の汽車にて宇佐を経、別府泊まり。明朝飯途に就くと。雨は午前中少しく降りたるも、午後は歇み、風冷えたり。火鉢を炬燵に電報原書を整理す。4時頃夕食を済ます。坊3時頃より寝かす。5時過ぎ湯に行かる。坊、湯槽中に在り、湯を高き飛沫をかけて喜ぶと。乱暴に驚かる。つばを吐きかけるは余を見習ひたるものとして、頗る恐縮し居る。電信消耗品、小為替証書等到着せり。此日栄町長、守江局長死去見舞に、山移局長と出発さる。電話を他に移す。模様換えを月曜日に遣り居らるるやにて、此日の見学団に対しても、要求の際は事情を話して視察を中止せしむることに取計らひ呉れとあり。其の多忙の中を出発せられしは同情に堪えず。

昭和18年3月29日（月）

晴れなるも、朔風強く寒し。6時半より街路掃除、30分にて終了。昨日は見学団の臨局に依り、朝食早く切上ぐ必要上、室内掃除を欠きたるを以て、此日奇麗に掃除せり。炬燵さる。前田さん風邪にて休暇。岩尾さん当番。多忙の為、午後6時半頃までかかる。天気は次第に悪化し、夜は遂に降雨と化す。森田さんの妹、及び横浜高商の弟と共に、夕方来津。二階は大分賑やかになる。此日守江局長の告別式、午後2時より執行の由。ミワさん調髪に行かれし間、坊を抱き日向ぼっこし、3時近く寝かす。一時間にして再び起き上がりたり。余の下駄を穿いて、

母堂を連れ田浜前まで出掛けたる由。坊昨、湯に行き林檎を遣りしが此日は菓子、オコシ等大分食べたり。夕食には自分独りで飯のみ大分食べたる由。

昭和18年3月30日（火）

夜半より降雨、街路掃除せず。気温降下、火鉢を使用。印紙請求す。現品受領まで、ミワさん始末し呉れらる。伊勢員より退職申出づ。満州行き決行の由。前田員出勤。為替に五百二十円貸し、午後戻さる。坊や風邪、鼻水多く出て咳頻発。但し発熱なし。夕、味付け飯。森田さん秋ちゃん、下関方面に女学校合格組を一団とし遠足。鮭造り、坊昨夜幾つも頂く。日中雨は揚がりたるも冷気は依然たり。道子よりミワさんに葉書。先月分送金越せしも、今日よりは送れぬかも知れぬとのこと、先方より通達ありしと。経費収支状況報告ずみ。秋ちゃんの土産に玩具の猫、蓋を除ければミヨウと音す。雨猛烈に降り、夜に及ぶ。坊を8時過ぎ抱き寝に就かす。此の間、ミワさん寝ぬので手古摺らる。

昭和18年3月31日（水）

朝、雨は降らぬも道路は湿潤。水刷けを完全にしたるに止まり掃除せざりし。森田氏弟妹等、皆帰宅さる。ミワさん定額貯金吸収の為活動。印紙不足請求。栄町小野局長臨局。窓口にて咄して販らる。後刻、坊を連れミワさんに少時局前にて看守して貰ふことを条件に一緒に出掛け、局前に遊ばし貰ふ。此の間木下主事に面会、後任事務員に付き打合わす。小野氏も恰度庶務に居られ斡旋の労をとらる。販りに歩かせて辿り付く。昼寝さす。ミワさんの活動にて千余円出来たり。貯金日計、其の為に明

日に延ばす。夜常会。森田氏伊勢さん送別。活動館見物。一時間遅れて出席、常会に加わる。坊寝床、睡らず。此の日の常会は割合早く閉会。かくて10時過ぎ漸く寝る。